

「岡崎の森」の整備目標

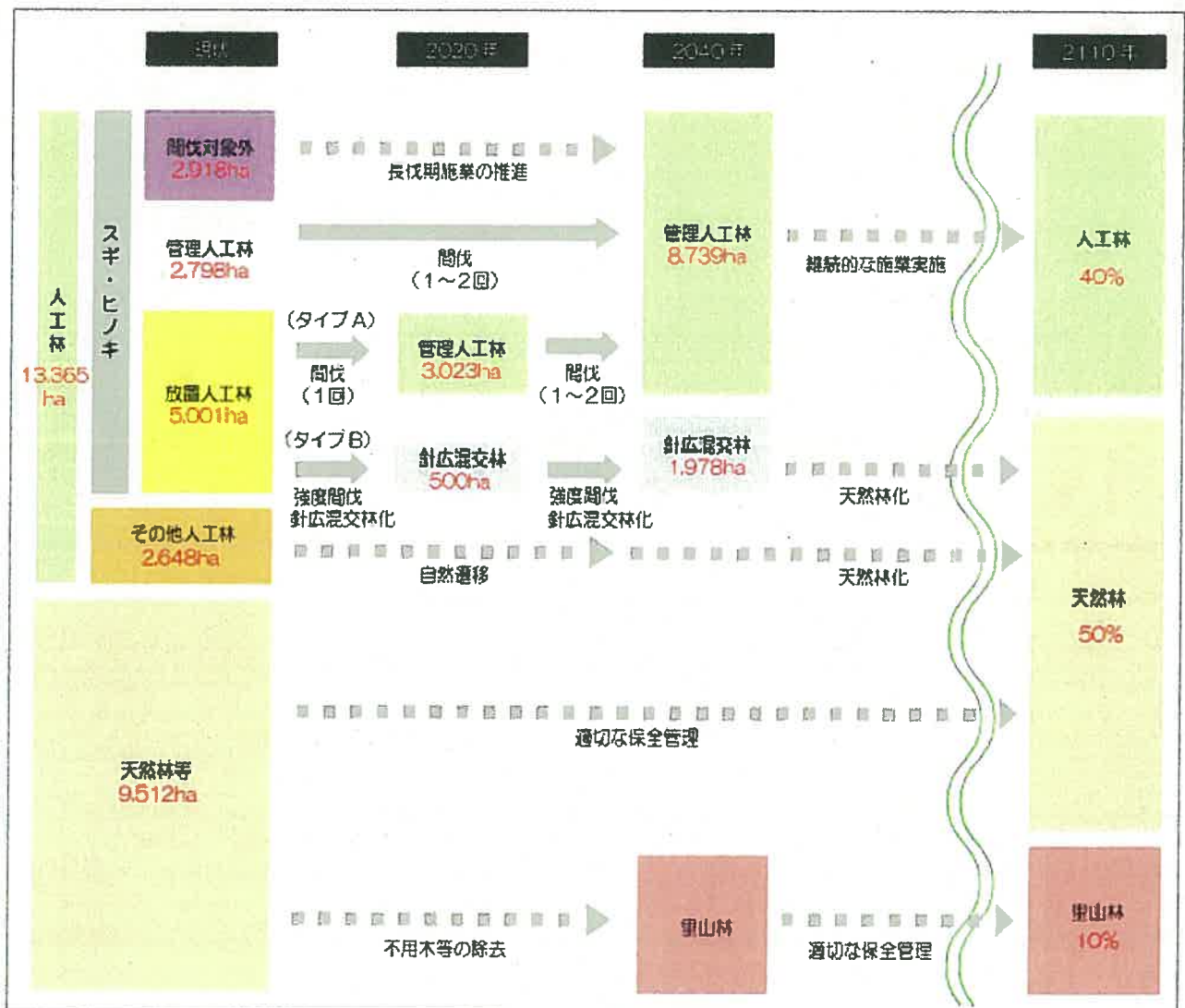
岡崎市森林整備ビジョン P.46 抜粋

それぞれの森林の現状を踏まえ、「岡崎の森」の整備目標を以下に示します。

特に、スギ・ヒノキ人工林については、過去10年間に間伐が実施されていない森林（放置人工林）が5,001haと全体（10,717ha）の46.7%を占めており、これらについては、適切な森林整備を実施していく必要があります。

そこで、放置人工林については、間伐の早急な実施により木材生産機能の向上を図り、「めぐみ」に貢献する森林と、また、針広混交林化と天然林化により水源かん養等の公益的機能の向上を図り、「うるおい」に貢献する森林を目指します。

また、天然林については、里山林のように木材や林産物生産の場としてや、レクリエーションの場として利用されるものと、原始的な自然環境の保全が必要であるものとに大別し、それぞれに対し適切な保全・管理を実施していきます。



【「岡崎の森」の整備目標】

- ※ 地域森林計画対象外の森林を除く。(国有林等)
- ※ 間伐対象外：2009年時点で、本市の造林事業で間伐対象林齢とされている4～12齢級（16～60年生）以外のスギ・ヒノキ人工林。
- ※ 管理人工林：2009年時点で、1996年～2008年の間に1回以上間伐報告されている森林。
- ※ 放置人工林：2009年時点で、1996年～2008年の間に間伐報告されていない森林。
- ※ その他人工林：マツ類と広葉樹の人工林。

